

- 北海道初日の朝は、道の駅「むかわ四季の館」の駐車場で空けた。朝4:00に目覚め、外はもう明るい、薄い雲が一面にかかっている。今日は天気が悪いか！周りをみると広い駐車場に数十台の車が止まっていて、中には立派なキャンピングカーが3台もある。同じように道の駅を宿泊地として車で回っている人が結構いるようだ。
- 気温は14 で寒い。昨年東北山紀行は梅雨明けで快晴の真夏の行動だったので暑い毎日だったが、今回は梅雨も明けぬ初夏の北海道だからそんなに暑いはずはないよね。Tシャツ、ポロシャツ、短パンばかり持ってきたが失敗だったかな。
- なんとこの道の駅には終夜の洗面所がない。夜中は併設ホテルのトイレが開放されていてそれを使う。
- アンパンと牛乳の朝食をとり5時10分樽前山の7合目駐車場に向けて出発。やはり北海道は広い。無料の高速道路をひた走るが途中から有料になる。一般道へ下りるのも面倒だからそのまま有料道路を走った。それでも7合目駐車場に着いたのは6時20分、一時間以上もかかった。国道から樽前山七合目へ入る道は未舗装の砂利道で、広いし平坦なので一見良い道に見えるが、なんと全線洗濯板状態、砂を巻き上げながら10km位ガタガタと走った。
- 駐車場には3台の車が止まっていて、隣の車の人がもう下りて来た。「早いですね」「4時過ぎから登って、神社まで行った来た」と会話。なにしろ初めての北海道の山、なんと言っても「ひぐま」がこわい。その人に今日のコースについて聞いてみた。「全コース心配ない。ただ風不死(フップシ)あたりはヒグマが出る」とのこと。「やはりヒグマがいる」ちょっと不安になる。
- 6:40登山開始。ウコンウツギの花が満開の灌木帯を抜けると火山礫一面の開けた道になる。こんなに見晴らしがよければヒグマなんか出るはずもない。見知らぬおじさんが後ろから来て抜いていった。私はまず東山を往復してから西山方面へ向かうが、おじさんは東山に寄らずに西山方面へとさっさと行ってしまった。東山・西山分岐前にモウセンゴケが生えていると本に書いてあるが、こんなガレ場にモウセンゴケがあるの？当然見つけれなかった。



眼下に支笏湖を望むウコンウツギの咲く道



樽前山・東山山頂



溶岩ドーム

- 早朝のうちはず曇りで日の光も弱く風も冷たかったが、徐々に天気が良くなり後半は真夏の太陽が顔を出し暑くて汗をかくほどになった。樽前山溶岩ドームを一周して予定より大幅に早く10:15に七合目駐車場に戻った。全コース イソツツジとウコンウツギが満開で樽前山の花タルマエソウ(イワブクロ)は咲き始め、ミヤマヤナギとイワヒゲが満開で咲き誇っていた。



駐車場からの登山口



イワヒゲが満開

- ・早朝3台だった車も今では数十台になり、後から後から登ってくる。七合目ヒュッテのおじさんが駐車場整理に忙しく動いていた。七合目のトイレは水が出ない。下山を急ぐ。



支笏湖岸から今登ってきた樽前山を望む

- ・支笏湖岸から今登ってきた樽前山と明日登る予定の恵庭山を眺め、今晚宿泊する道の駅「花ロードえにわ」をナビで探すもナビには載っていない。パソコンを取り出し調べると、なんと恵庭市にある。ここから50kmも東へ走らねばならず、明日はまた同じ道をここのまで50km戻ってこなければならぬ。

- ・恵庭市は結構大きな街並みでセブンイレブンがやたらと多い。道の駅を探して町の中を行ったり来たり、2時前にやっとたどり着いた。快晴で暑い。
- ・案内所で「日帰り入浴」を聞いたら2km先に「ラフォレ」なる温泉があるとのこと。石鹸・シャンプーは無く入浴料380円と安い。どうして立派な温泉施設でゆっくりと疲れを癒した。
- ・道の駅駐車(宿泊)の場所を決め、今日撮ってきた写真をパソコンに取り込んで5時から夕食に。ビール2缶、コンビニ弁当に味噌汁、食後にコーヒー。
- ・明日は雨のようだ。恵庭岳はちょっと気が乗らない、中止にするか。
- 6:30 ビールがきいてきて眠い、まだ外は明るい、今日は疲れた。おやすみ。

[見られた花] 10種(名前のわかったもの9種 + 名前不詳 1種 )

- ・ウコンウツギ ・マルバシモツケ ・イソツツジ ・マイズルソウ ・ミヤマヤナギ(ミネヤナギ)
- ・イワブクロ(タルマエソウ) ・イワヒゲ
- ・コケモモ ・ユオウゴケ



ミヤマヤナギ